

した。わからないところがあると、どこにでも行つてわかる人にたずねました。

二十歳を過ぎるころには、計算を、何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。

ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畑にあふれ出したことがあります。

豊助は、この水をくいとめる、じょうぶな堤防ていぼうを作るには、どのくらいの土や砂が必要なのか、材木はどのくらい使うか、などを計算しました。これを実際に役立つするには、測量のし方や水の力をはかる

